

出前講座マニュアル (案)

平成 23 年 8 月 10 日

まえがき

1. 出前講座の位置付けと目的.....	1
2. 出前講座の準備.....	2
2.1 出前講座対象地区の選定.....	2
2.2 資料作成.....	2
2.2.1 情報の収集.....	2
2.2.2 資料作成の考え方.....	8
2.2.3 資料説明の事例.....	15
3. R-DIG（水害図上訓練）の開催.....	36
3.1 準備物.....	36
3.2 R-DIG（水害図上訓練）の流れ.....	37
3.3 東近江市葛巻の事例紹介.....	39
4. 実施時の留意点.....	42
5. 実施後のフォローアップ.....	44
5.1 効果の把握.....	44
5.2 出前講座を通じて明らかになった留意点.....	52
5.2.1 竜王町西横関での実施例に基づいた留意点.....	52
5.2.2 近江八幡市小田町での実施例に基づいた留意点.....	52
5.2.3 日野町上駒月での実施例に基づいた留意点.....	52
5.2.4 東近江市葛巻での実施例に基づいた留意点.....	52
5.2.5 竜王町弓削での実施例に基づいた留意点.....	52
5.2.6 近江八幡市下豊浦での実施例に基づいた留意点.....	53

【参考資料】近江八幡市立馬淵小学校および桐原東小学校における出前講座

まえがき

滋賀県は、水害被害額が47都道府県中47位であり、水害の少ない県です。水害が少ないためか、県政モニターアンケート結果からも、洪水被害を受けると思う割合は低く、滋賀県民の災害に備える意識が低いことが見受けられます。また、図3に示す地域防災力に関するアンケート結果より、水防訓練を実施していない自治会が多いという現状があります。

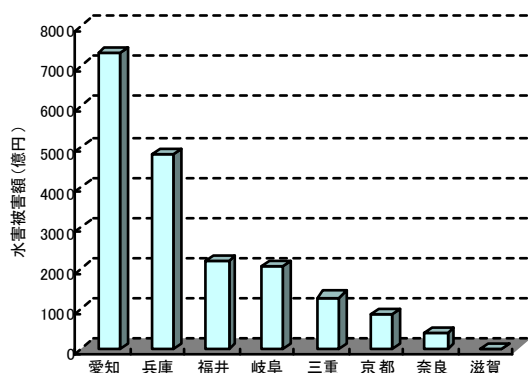


図1 平成11年～平成20年までの水害被害額（平成12年価格）

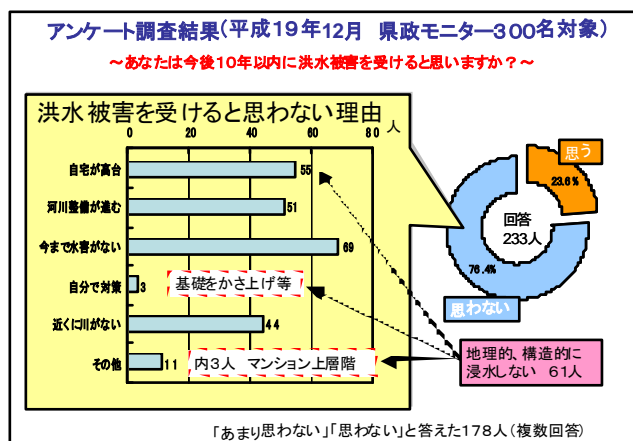


図2 県政モニターアンケート調査結果（平成19年12月）

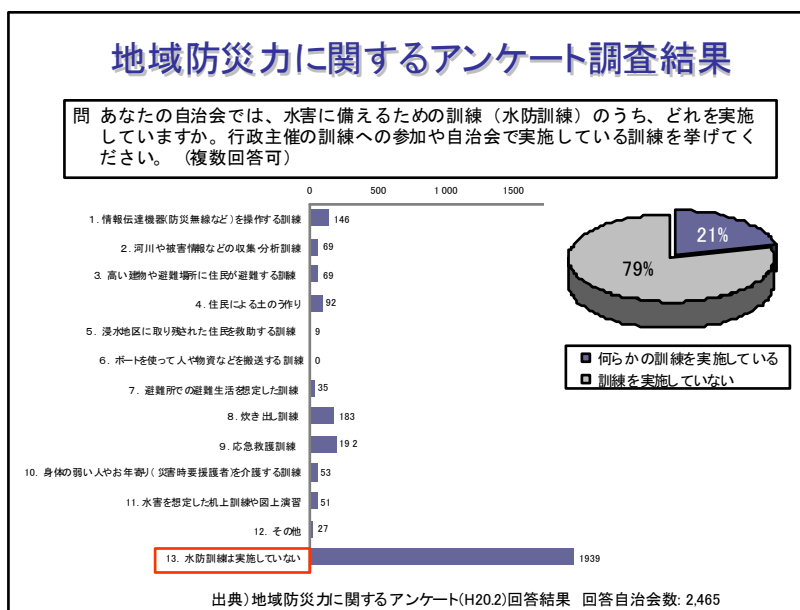


図3 地域防災力に関するアンケート調査結果

各市町では洪水ハザードマップを配布する際などに、自治会に出向いて説明する場を設定するなど出前講座を企画している市町もありますが、自治会からの申し込みはあまり多くなく実施事例が少ない状況です。また、これまで具体的な氾濫状況がわからず、地域の実情に応じた説明が難しかったことなどから、県・市町職員も積極的に出向いて行こうとする体制ではありませんでした。

しかし、東近江圏域は天井川も多く、氾濫した際には深く浸水する地域も多いため(図 4)、東近江圏域における「水害に強い地域づくり協議会」では、住民の水害に備える意識を早急に高める必要があるという認識で一致しました。

以上の経緯より、洪水・土砂災害ハザードマップ等により地域住民に潜在的な災害リスクを伝え、災害に備える意識を高めてもらうために、出前講座などを有効に活用し意識を高める活動を広げていく必要があります。県・市町の担当者1人1人が、地域の状況に対応した適切な内容をわかりやすく説明できるよう、出前講座マニュアルを作成することになりました。

マニュアルの作成にあたっては、国や県が作成した資料を基に出前講座を実施し、その事例から考えられる留意点をまとめるなど、できるだけ具体的な内容を記述することに留意しました。今後出前講座などを重ねることにより明らかになる新たな留意点等について順次追加することにより、担当者各自が有効に活用することができるマニュアルに更新されていくことが期待されます。

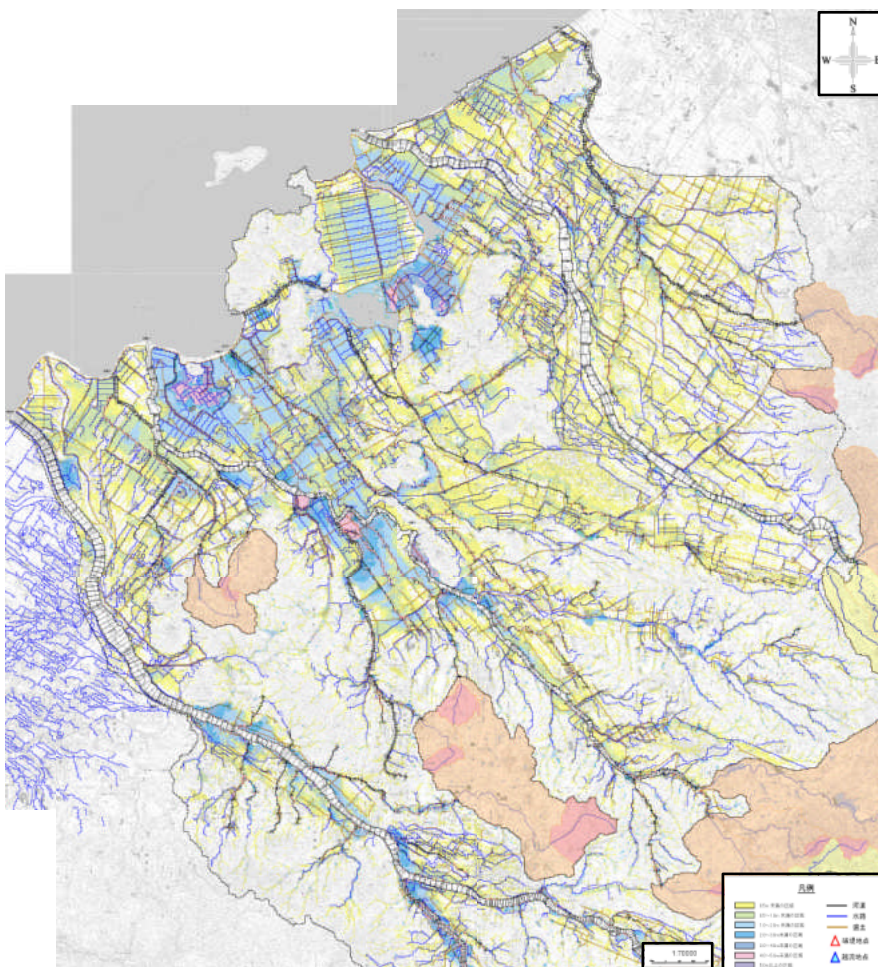


図 4 東近江圏域全体図(100年確率最大浸水深図)

1. 出前講座の位置付けと目的

地域の防災教育において自助・共助の意識を高め、地域防災力の向上を目指す必要があります。近年、防災教育における手法として、行政と住民とが双方向で実施する取り組みである、図 5 に示す段階に沿ったリスクコミュニケーション手法が重要視されています。

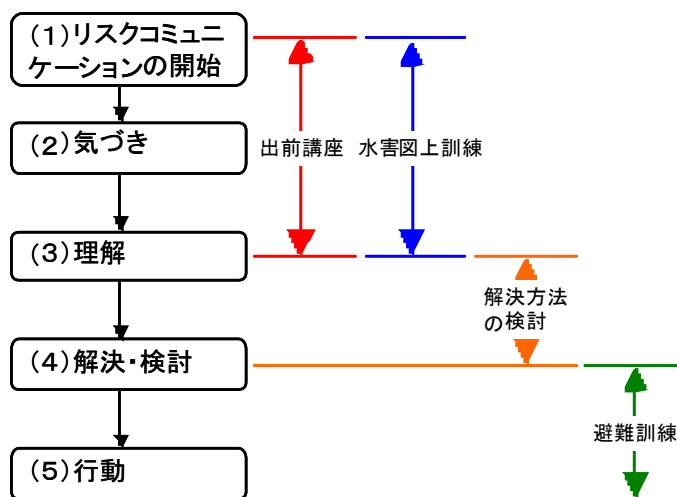





図 5 リスクコミュニケーションの段階

上図に示すリスクコミュニケーションの各段階において、実施する取組の概要を整理すると表 1 のようになります。

表 1 実施項目と概要

実施項目	概要
 出前講座	地域に潜む災害リスクを教えるなどして、地域の実情に応じた内容を地域住民に伝え、災害リスクの認識、防災意識を芽生えさせる。また、災害リスクへの具体的な対策事例を示すことで、今後取り組んでいくべき内容を認識していただきます。
 R-DIG（水害図上訓練）	地域に潜む災害リスクを、R-DIG（水害図上訓練）により、地域住民自ら気付いていただく。同時に、出前講座で紹介した災害リスクをさらに理解していただき、解決策を住民自ら考えていただきます。 ※R-DIG（水害図上訓練）とは、1/2500 程度の地図を使って避難所の位置や避難経路、危険箇所等の災害リスクを確認していくことです。
 避難訓練	R-DIG（水害図上訓練）で気づき、理解し、解決（検討）した内容を実際の行動に移すための避難訓練となる。実際の行動に移してみて、初めて気付く地域に潜む災害リスクも考えられます。

出前講座は、リスクコミュニケーションによる地域防災力の向上を目指すためのきっかけとなる位置付けであり、地域住民に防災意識を芽生えさせ、今後の防災活動へ意識を持続させるような内容が期待されます。

2. 出前講座の準備

2.1 出前講座対象地区の選定

全自治会を対象に出前講座を実施することとして広報することは必要ですが、水害や土砂災害については地域特性があり、リスクの大きい自治会から優先的に出前講座の開催を働きかけていくことも重要となります。優先すべき自治会としては、潜在的リスクが大きい自治会や、地域防災力が弱い自治会であり、選定にあたっては、はん濫シミュレーション結果(図 4)や地域防災力アンケート(図 3)を活用します。

2.2 資料作成

2.2.1 情報の収集

住民にとって水害や土砂災害は頻繁に経験するものではなく、認識が低いものとして基本的な事項からわかりやすく説明する必要があります。近年の被災事例や県の対策等、具体的な資料や映像等で説明するために利用できる情報を収集します。なお、河川や砂防施設の整備状況等については、土木事務所の河川砂防課に問い合わせ収集します。

表 2 資料収集場所及び使用趣旨一覧表

資料名	問い合わせ場所	使用趣旨
地域防災力アンケート結果	流域治水政策室	住民の水害に対する意識の低下を説明するため。
滋賀県の過去の水害写真	滋賀県 水害情報発信 HP	過去の水害の被災経験等をわかりやすく説明するため。
過去の水害の映像	流域治水政策室	過去の水害の被災経験等を映像でわかりやすく説明するため。
過去の土砂災害の映像	砂防課	過去の土砂災害の被災経験等を映像でわかりやすく説明するため。
全国で発生した水害に関する情報	国土交通省、気象庁、 被災した市町村の HP	水害の危険性をわかりやすく説明するため。
水害シミュレーションの時系列変化	流域治水政策室	現状での浸水リスクを説明するため。
浸水シミュレーションの立体画像	琵琶湖河川事務所	現状での浸水リスクを説明するため。
破堤時の家屋流出範囲	土木事務所	現状での破堤時の影響を説明するため。
過去および現在の航空写真等	琵琶湖河川事務所 HP (B-BOX)	土地利用の変遷を確認するため。
土砂災害警戒区域 土砂災害危険箇所マップ	砂防課 HP	土砂災害危険区域を確認するため

表 3 水害情報 HPに掲載している情報一覧表（東近江圏域）

市町名	HPに掲載している水害情報
東近江市	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和 28 年台風 13 号 ・昭和 34 年台風 7 号 ・昭和 34 年伊勢湾台風 ・平成 2 年台風 19 号
近江八幡市	<ul style="list-style-type: none"> ・大正 6 年 ・昭和 28 年台風 13 号 ・昭和 34 年伊勢湾台風
旧安土町（近江八幡市）	<ul style="list-style-type: none"> ・明治 29 年琵琶湖洪水 ・昭和 28 年台風 13 号 ・昭和 57 年台風 10 号 ・平成 2 年台風 19 号
日野町	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和 34 年台風 7 号 ・昭和 34 年伊勢湾台風 ・昭和 36 年第 2 室戸台風 ・昭和 40 年台風 24 号 ・昭和 43 年 ・昭和 57 年台風 19 号
竜王町	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和 19 年 ・昭和 34 年伊勢湾台風

出前講座で使用するスライドは以下のフロー図に従って作成します。フロー図内のスライド番号は、次項で説明します。

(1) 水害編と土砂災害編の選択

これから出前講座を実施しようとする地域に対して、「水害」と「土砂災害」のどちらをメインにすればよいか不明な場合は、以下のフローで選択してください。また、水害編を選択する場合は、「水害編（琵琶湖浸水が想定される地域版）」と「水害編（琵琶湖浸水が想定されない地域版）」のどちらかを選択してください。

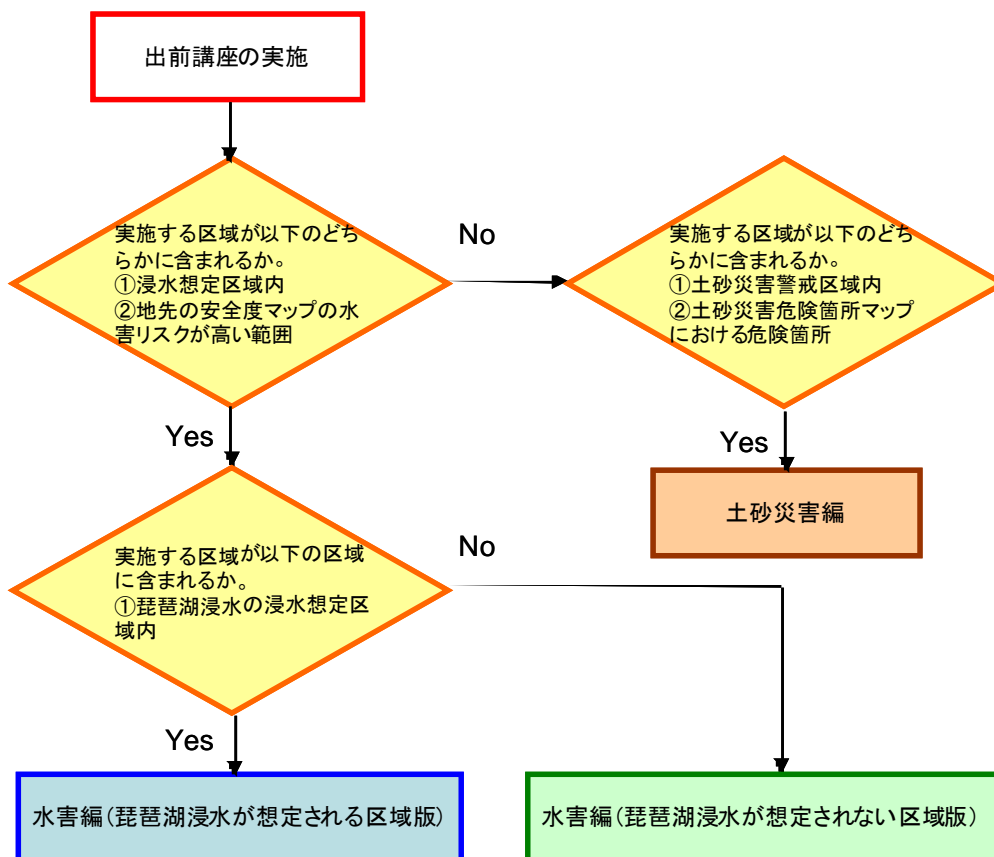


図 6 資料作成フロー図

(2) 水害編のスライドに必要な資料の取捨選択

出前講座用のスライドは、地域の特性に応じた内容であることが望ましいです。以下のフローで水害編の出前講座に必要な資料を取捨選択できます。参考にしてください。

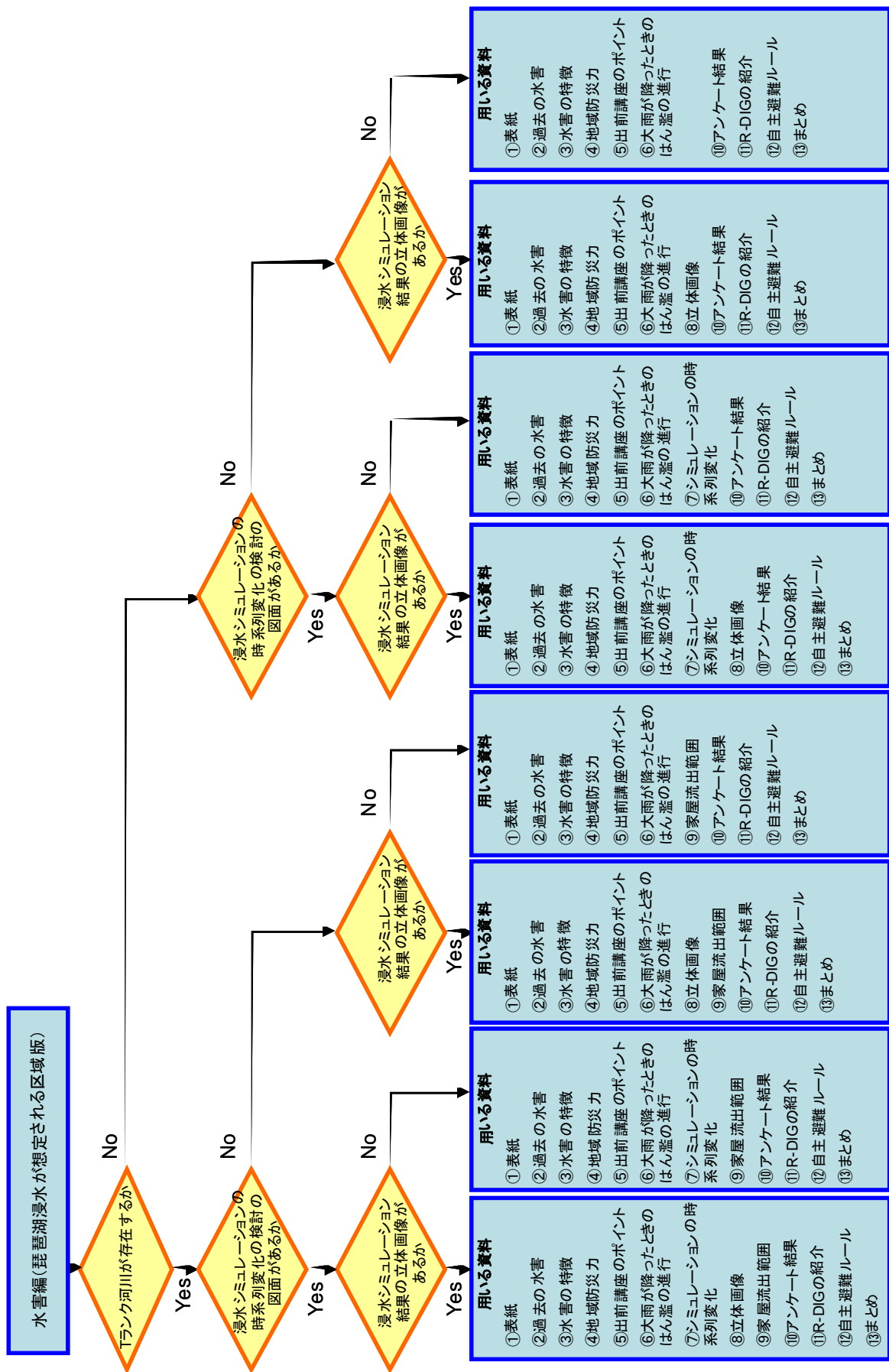


図 7 資料作成フロー図（水害編（琵琶湖浸水が想定される区域版））

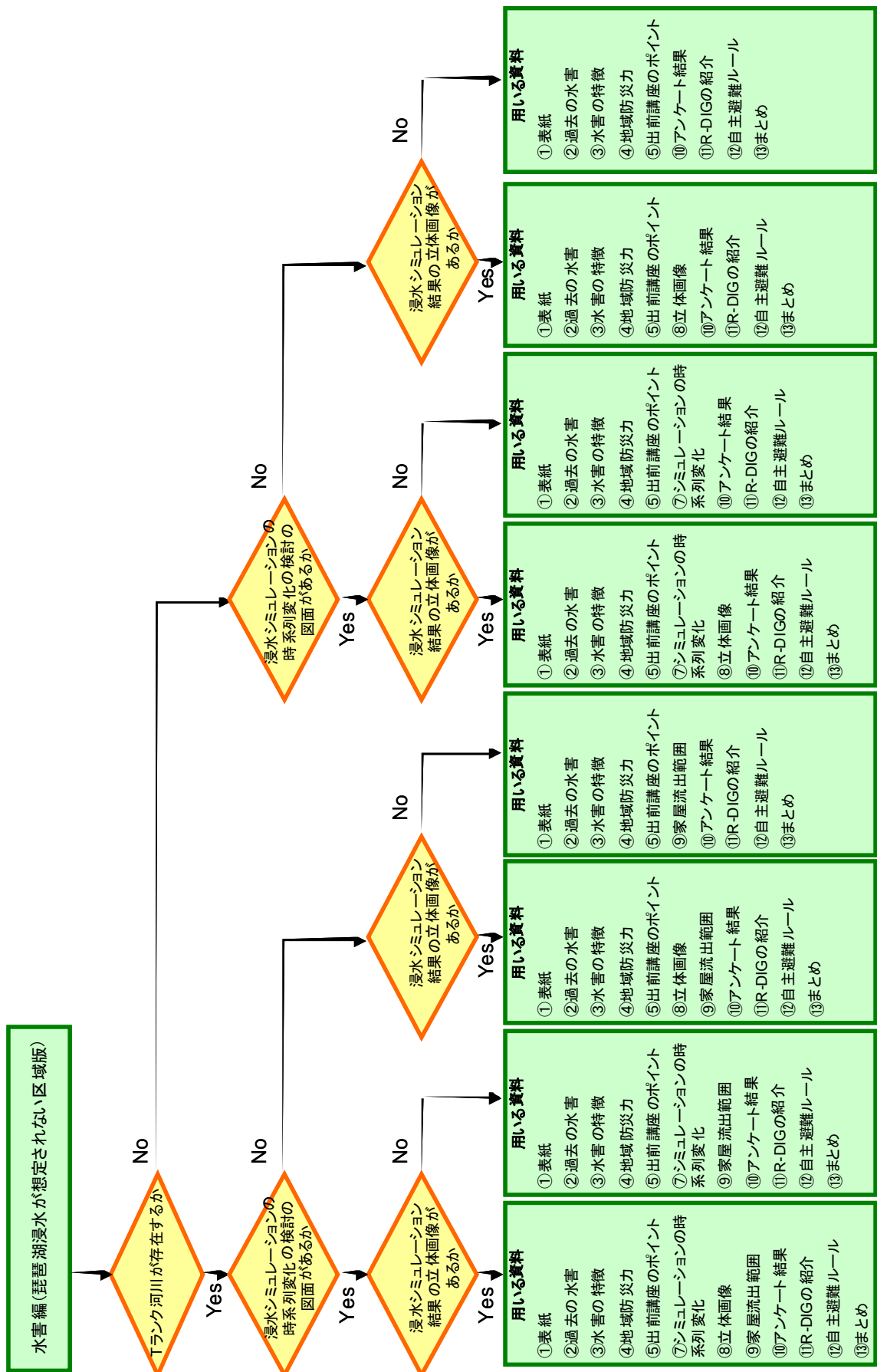


図 8 資料作成フロー図（水害編（琵琶湖浸水が想定されない区域版））

(3) 土砂災害編のスライドに必要な資料の取捨選択

出前講座用のスライドは、地域特性に応じた内容であることが望ましいです。以下のフローで土砂災害編の出前講座に必要な資料の取捨選択ができます。参考にしてください。

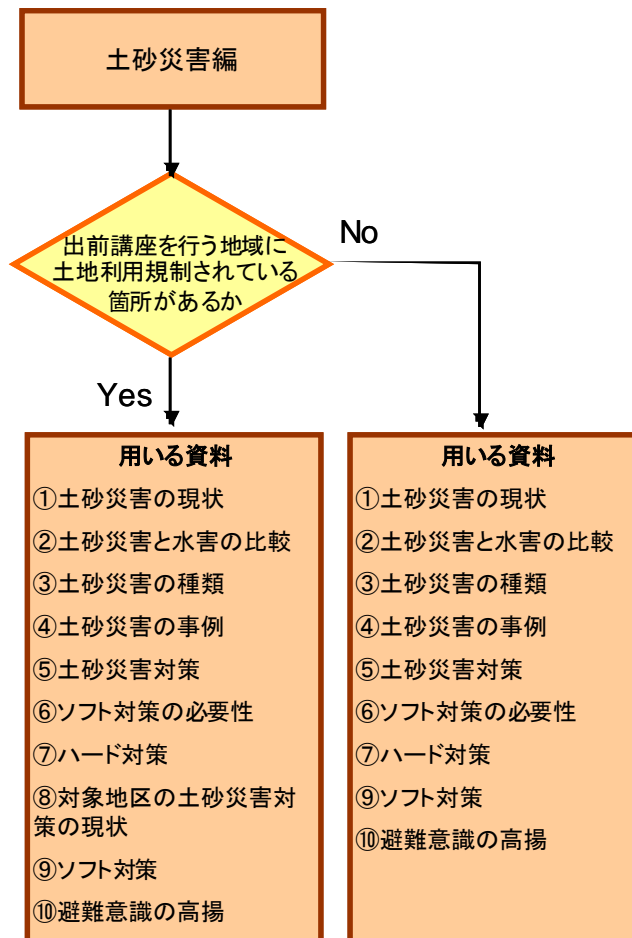


図 9 資料作成フロー図（土砂災害編）

2.2.2 資料作成の考え方

【水害編】

竜王町西横関及び近江八幡市小田町、東近江市葛巻、竜王町弓削で実施した出前講座を例に、資料作成のポイントや留意事項、情報入手方法等を記載します。

資料のポイント等	スライド例	
<p>①表紙</p> <p>地域の状況を反映させた表紙で興味を引き付ける。</p> <p>(公民館の写真、地域の航空写真を使用)</p>		
<p>②過去の水害</p> <p>過去に被災経験のある自治会については、被災写真等を使用して当時の状況を説明する。(写真は県のHPより入手可能)</p>		
<p>③近年の水害の特徴</p> <p>近年、全国および滋賀県内で発生した水害の特徴を伝え、現状の水害を認識していただく。</p>		
<p>④地域防災力アンケート</p> <p>県政モニターアンケートや地域防災力アンケートの結果を示し、水害対策の必要性を認識していただく。</p>		

資料のポイント等	スライド例	
<p>⑤出前講座のポイント</p> <p>出前講座の内容・ポイントをわかりやすくするために、3項目程度で示す。</p>		
<p>⑥大雨が降った時のはん濫の進行</p> <p>大雨が降ったときのはん濫の進行として、河川や内水によるはん濫と琵琶湖の水位上昇に伴うはん濫について説明する。</p>		
<p>⑦水害シミュレーションの時系列変化</p> <p>浸水シミュレーションの時系列変化を示し、現状で想定される浸水リスクについて説明する。</p>		
<p>⑧浸水シミュレーションの立体画像</p> <p>浸水シミュレーション結果の立体画像を示し、現状で想定される浸水リスクについて3次元的に説明する。</p>		
<p>⑨破堤時の家屋流出範囲</p> <p>Tランク河川において破堤した場合の家屋流出範囲を示し、現状の水害リスクを説明する。</p>		

資料のポイント等	スライド例
<p>⑩地域防災力のアンケート結果</p> <p>当該地域の地域防災力結果の特徴を説明する。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="555 315 943 600"> <p>3. 川の外での対策を考えよう</p> <p>地域防災力アンケート(H20. 2)の結果</p> </div> <div data-bbox="979 315 1367 600"> <p>3. 川の外での対策を考えよう</p> <p>地域防災力アンケート(H20. 2)の結果</p> </div> </div>
<p>⑪R-DIGの紹介</p> <p>R-DIG（水害図上訓練）を紹介する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">水害に強い地域を目指す取り組み</p> <p style="text-align: center;">◆水害図上訓練R-DIG(Disaster Imagination Game)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県で洪水ハザードマップを普及させる方法として改良 ・地図を囲みながら参加者全員で水害時の対応策などを検討 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p style="font-size: small; text-align: center;"> 東海市自衛消防リーダー研修会 浜松市石川町西消防訓練 </p> </div>
<p>⑫自主避難ルールづくり</p> <p>他地域の対策事例を用いて、対策について、説明する。水防活動や自主避難ルールづくり等の活動を紹介します。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="528 1025 922 1323" style="width: 48%;"> <p>3. 川の外での対策を考えよう</p> <p>(2) 避難行動</p> <p>避難勧告が出された場合、どのような行動をとりますか？</p> <p>【参考】H16.7 新潟豪雨災害 自宅以外に避難した割合 24%</p> <p>三条市・・・21% 見附市・・・29% 中之島町・・・37%</p> <p style="font-size: x-small;">新潟県防災課「H16.7新潟豪雨災害」</p> </div> <div data-bbox="954 1025 1358 1323" style="width: 48%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">あなたは自分で判断して 避難ができますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ■防災スピーカー、サイレンなどを設置して危険を早く知らせほしい。とにかく何も連絡なし。動けませんでした。(三条市民) ■避難勧告などが全く無く、情報が少なく、どう行動をとっていいのかわからなかった。(三条市民) ■浸水が進んでも避難勧告がなく、避難できなかった。市の責任は重い。(三条市民) <p style="font-size: x-small; text-align: center;">「平成16年7月新潟豪雨災害に関する実態調査」フリーアンサーより 避難勧告が無かったから避難できなかった？ (群馬大学大学院 片田教授講演資料を一部改変)</p> </div> </div>
<p>⑬まとめ</p> <p>出前講座の最後にまとめやおさらいをするスライドを設けて、もう一度出前講座のポイントや内容を思い出していただく。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="528 1413 922 1704" style="width: 48%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">本日の説明ポイント(おさらい)</p> <p>ポイント1 「治水に完全はない」 すべての洪水を川の中にとどめることは不可能</p> <p>ポイント2 「水害は予測が可能」 情報を行動につなげる心の準備を</p> <p>ポイント3 「的確な避難が命を守る」 地域の実情に応じた避難行動を決めよう</p> </div> <div data-bbox="954 1413 1358 1704" style="width: 48%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">「水害に強い弓削」をめざしましょう</p> <p style="text-align: center;">気づき → 考え → 行動する</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">公助</p> </div> </div>